

ビオトープ管理士試験直前フィールドセミナー報告 —谷戸山公園に学ぶ—

9月10日（土）、同月25日に行われる今年度のビオトープ管理士試験をひかえ、試験直前のセミナーを、毎月の現場研修会のフィールドとしている神奈川県立座間谷戸山公園にて開催いたしました。

このセミナーは、公園内を歩きながらビオトープ管理士試験に関連する内容を、公園の自然をお手本に1つひとつ解説するというものです。また、過去に出題された問題を提示するなどして、その場その場に合った項目を、目で見て理解していきます。



試験の2週間前にもかかわらず、
たくさんの受講生が参加下さいました。
セミナーの解説、自己紹介などの後、
視察に出発です。



試験の2週間前にもかかわらず、
たくさんの受講生が参加下さいました。
セミナーの解説、自己紹介などの後、
視察に出発です。



シラカシ観察林での解説風景です。
皆さん真剣にメモを取っていますね。
森林の更新、極相林、シラカシ林を
構成する樹木などの解説です。



水鳥の池とその脇にあるカエル沼では、
ミティゲーション、鳥類非干渉距離、鳥類の渡り区分、
カエルのビオトープなどについて解説しました。
この日、池にはカイツブリやカモなどが泳いでいました。
カワセミやオオタカも時々見られるそうです。



午前のセミナー終了、里山体験館にもどり
昼食をとりました。いつもここは参加者の交流の
場となります。試験勉強の進み具合や
日頃行っている活動などについて話していました。



午後のセミナー開始です。

園路脇の自然石積み。空隙の多い石積みはトカゲや昆虫などの生息空間となっています。この他、丸太積み、カントリーヘッジなども生物の大切な生息空間ですね。



クヌギーコナラ観察林に落ちていたコナラの枝。
ハイイロチョッキリが切り落とした物でしょう。
よく見るとドングリには産卵をした穴があいていました。



クヌギーコナラ観察林にある野外教室での
解説風景。ここでは、原生林・二次林、萌芽更新、
森林の階層構造、センサス調査などについて
解説を行いました。



わきみずの谷での解説は、トンボ・ホタル・ホトケドジョウなどの生息環境、湿性遷移、地域個体群(遺伝子の多様性)等です。この公園でも関西地方のホタルを放してしまった人がいて、遺伝子の多様性が失われる恐れがあるとのことでした。



最後に、私達が毎月現場研修会を行っている湿生生態園と田んぼで順応的管理、水生植物・水生昆虫、湿田・乾田等について学びました。これで全 15ヶ所での視察・解説は終了です。この後は、室内へ移動して試験問題の解説を行います。



公園近くの公民館で、過去に出題された
ビオトープ管理士試験の再現問題の解説と
質疑応答を行いました。

午前 2 時間、午後 2 時間 30 分歩いた後でしたので、
みなさんかなり疲れていたと思いますが、睡魔と
たたかいながら頑張って説明を聞いていました。

これですべて終了です。このセミナーがみなさんの学習の一助となれば幸いです。
みなさんお疲れ様でした。